

II 調査研究報告

- | | |
|---------------------|------------|
| 1 妻木晩田遺跡出土の絵画土器について | (長尾かおり) 46 |
| 2 妻木晩田遺跡における貯蔵穴について | (君嶋俊行) 51 |
| 3 西伯耆における大型器台の変遷と画期 | (松井 潔) 57 |

1 妻木晩田遺跡出土の絵画土器について

はじめに

妻木晩田遺跡出土の絵画資料は、平成18年度の松尾頭地区重点調査において、新たに絵画土器1点が出土し（前章第3節参照）、計6点となった（第1表）。

これらの絵画資料のうち、「鳥装の人」の絵画土器（以下、妻木晩田①、第1図-2）は、絵画を描く前の器面調整などが特徴的であり、米子市日吉塚古墳からよく似た絵画表現をもつ絵画土器（以下、日吉塚古墳例、第1図-3）が確認されるなど、報告以後に新たに明らかになった点も少なくはない。よって、本稿では、妻木晩田①の情報を整理し、改めてその特徴を検討した後に、若干の考察を加えることとしたい。

山陰地方の絵画資料の研究は、米子市稲吉角田遺跡出土の絵画土器（以下、稲吉角田例、第1図-5、佐々木1981）の報告以後、全国的な視点から、1つのキャンパスに描かれたモチーフの組み合わせと類例の検討によって絵画を読み解こうとする試みを中心であった。

近年は、発掘調査による資料数の増加を受けて、山陰地方の弥生絵画の特徴を明らかにしようとする研究が進められ、他地域のモチーフとの相違点が指摘されはじめてきている（辻編1999、山田2006）。本稿でも、同様な視点から妻木晩田①について検討したいと考えるが、本資料の特徴を明らかにするため、まずは異なるモチーフが描かれた絵画土器とも比較可能な、絵画の描かれ方についても整理しておきたいと思う。この描かれ方については、器面の調整と描いた道具の形状について取り上げることとする。その後、絵画表現の特徴について検討したいと考える。

なお、本稿で用いている語句のうち、「絵画」は遺物に描かれた絵、「絵画資料」は絵画が描かれた遺物を指している。絵画資料のうち、特に土器に絵画を描いたものについて「絵画土器」と呼び分けて使っていることもある。

1 絵画の描かれ方について

(1) 器面の調整

絵画土器の器面調整には、(I)ハケ、ナデといった土器自体の器面調整の上に線刻するものと、(II)下地処理として、描く部分のみをナデた後に線刻するもの

の2つのパターンがある。

妻木晩田①では「鳥装の人」は帯状にハケをナデ消した後に線刻されている。人物背後の「竪穴住居」はハケの上に直接描かれ、線刻の一部がナデ上にまで及んでいる。このことから、妻木晩田①の器面調整はパターン(I)、(II)とも行われているのが分かる。

では、他の絵画土器ではどうだろうか。妻木晩田遺跡出土の他の絵画土器を見ると、ハケおよびナデ上に線刻されており、器面調整は全てパターン(I)である。

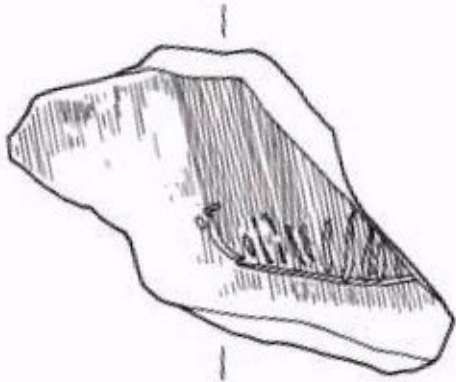
次に妻木晩田遺跡周辺の遺跡の絵画土器を見ると、モチーフが明らかな絵画土器では山陰地方最古（弥生時代中期中葉）となる西伯郡大山町茶畑山道遺跡出土例（第2図-1、2）は、絵画がハケ調整およびヘラ磨き調整の上に線刻されている。中期後葉の資料であり、妻木晩田例と絵画に類似性が認められる日吉塚古墳例、稲吉角田例はハケ調整の上、同時期の西伯郡大山町名和飛田遺跡出土例（第2図-4）では「シカ」が上半ハケ調整、下半ナデ調整の上に1個体描かれている。これらの器面調整は全てパターン(I)が施されている。

以上から、絵画土器の器面調整について、妻木晩田①に見られるパターン(II)は頻繁に行われた調整ではないのが分かる。

それでは、なぜ妻木晩田①ではパターン(II)が施されたのだろうか。藤田三郎氏は、奈良県清水風遺跡出土絵画土器「鳥装の司祭者」の観察から、ハケ調整をナデ消した範囲について、下絵を消すためにナデが施されたものと推測している（藤田2006）。妻木晩田①に下絵が描かれたような痕跡はないが、絵画を描く前に必ずしも下地処理を行わないことを考えると、線刻の修正のためにナデが施された可能性はある。

第1表 妻木晩田遺跡出土弥生絵画資料一覧

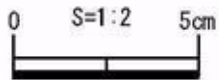
No.	地区	遺構	種類	絵画の種類	時期	
①	松尾頭	3区	遺構外	壺	鳥装の人 竪穴住居?	中期
②		3区	遺構外	壺	フネ?	中期
③		5区	第179土坑	壺	編織文?	中期後葉
④		3区	第21溝状遺構	壺	木葉文?	中期後葉～ 後期前葉
⑤	妻木新山	3区	第70竪穴住居跡	砥石	弧帯文	後期以降
⑥	洞ノ原西側丘陵		第4次調査 住居1	土器	不明	不明



1 フネ? (妻木晩田遺跡松尾頭地区出土)



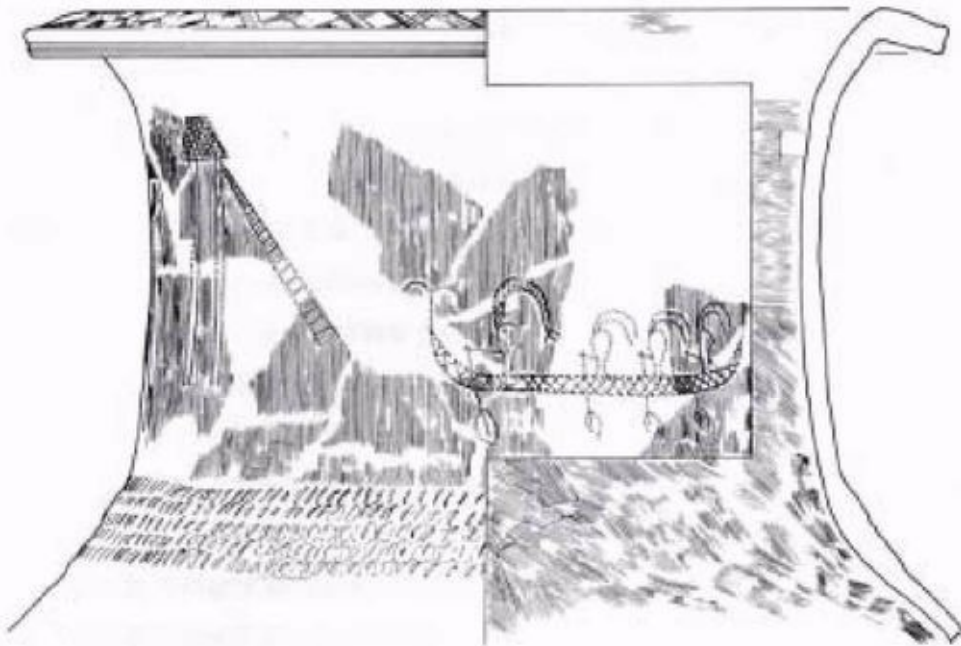
2 鳥装の人 (妻木晩田遺跡松尾頭地区出土)



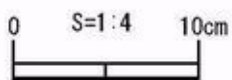
3 鳥装の戦士 (日吉塚古墳出土)



4 鳥装の人 (青谷上寺地遺跡出土)



4 舟を漕ぐ鳥装の人と高床建物 (稲吉角田遺跡出土)



第1図 絵画資料①

(2) 描いた道具について

次に絵画を描いた道具の形状について見ていく。

妻木晩田①の「鳥装の人」は、線刻の断面形の観察から、幅1mm程度、先端の断面がやや丸みをもつ「V」字状の道具を用いて描かれていると考える。加えて「羽状の飾り」は幅1mmの線刻で外形を描いた後、幅0.1～0.2mm程度の細い工具で斜格子状の線刻を浅く刻んでいる。「竪穴住居」も「羽状の飾り」の装飾と同じ細い道具で浅く刻まれている。即ち、妻木晩田①の絵画は少なくとも2種類の道具で描かれたものと推測できる。

他の絵画土器を見ると、妻木晩田①のように複数の道具を使って描かれたことがわかる例は、妻木晩田遺跡出土の他の絵画土器および周辺の遺跡には見られない。

以上の結果から、妻木晩田①の絵画の描かれ方は、器面の調整、描いた道具の形状の2点について、妻木晩田遺跡出土の他の絵画土器や周辺遺跡の絵画土器と異なる特徴をもっていることがわかる。

2 絵画の表現について

山陰地方の絵画資料のうち、人物を表現したものは人面のみ描いたものが2例、体部まで描いたものが13例（稲吉角田遺跡出土絵画土器の人物を3例とした場合）ある。そのうち「鳥装の人」が描かれた絵画資料は、いずれも鳥取県出土の絵画土器で、妻木晩田遺跡、日吉塚古墳、稲吉角田遺跡、青谷上寺地遺跡（第1図-4）に認められる。

このうち、妻木晩田①は、頭上に「羽状の飾り」をつけた人物が描かれていたことから、「鳥装をしたシャーマン」と考えられ（妹尾 2000）、人物の絵画表現の似る日吉塚古墳例が出土し、遺跡間の距離も遠くないことから「モチーフに何らかのつながりを感じさせるもの」であることが指摘されている（山田2006）。

そこで、妻木晩田①と日吉塚古墳例に描かれた人物について情報を整理してみる。

妻木晩田①の「鳥装の人」は、正面を向いているとすると、頭部の左側に「羽状の飾り」が見られることから、顔は右を向いていると考えられる。顔前方の膨らみは、額よりわずかに顎の部分に寄っている。こうした表現は、佐賀県瀬ノ尾遺跡出土の絵画土器例などから、嘴状の突起をもつ鳥の仮面を被った人を表している可能性もあ

る。大きな「羽状の飾り」は、後頭部から前方上に向かって弯曲するように伸びている。胸部は逆三角形に表現され、右手に杖のような棒状のものをもっている。腕の表現は確認できないが、右手にもつ棒の両側には半円状の短い線刻が見られる。

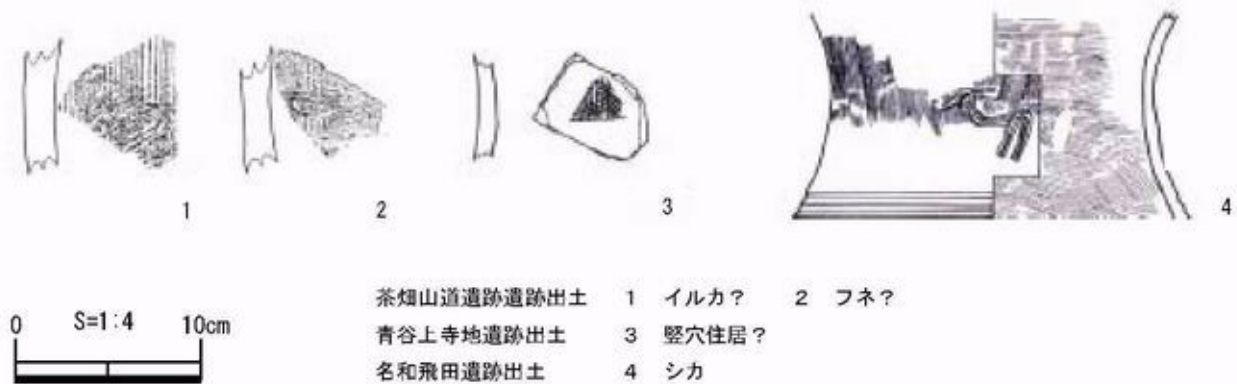
日吉塚古墳例の「鳥装の人」は、頭上の「羽状の飾り」や逆三角形の胸部といった表現が妻木晩田①と共通する。この人物は、正面を向いているとすると、右手に盾をもち、左手に武器（戈?）をもつ戦士である。2つの盾はいずれも形状が長方形で、表面の装飾の有無から裏表を表現しているとみられることから、2人の戦士が向き合う構図をとると考えられる。両手に盾や武器をもつ人物は、弥生絵画では奈良県清水風遺跡や大阪府平野遺跡などの絵画土器と共通し、2人の戦士が向き合う構図は石上2号銅鐸例（梅原1927）と同様である。

妻木晩田①と日吉塚古墳例は、細部では異なる点があるものの、頭上の「羽状の飾り」の表現や手にもつ点で共通し、両者は同じテーマのもとに描かれた絵画と推測される。そのモチーフや構図は近畿地方の絵画資料とも共通するものであり、頭に飾りをつけた「戦士」を表現するものである。

「鳥装の人」が描かれたその他の絵画資料のうち、「鳥装の司祭者」が描かれた稲吉角田例は、モチーフの組み合わせの変化から、唐古・鍵遺跡の絵画土器に描かれた絵画が稲の象徴としての鳥を迎えにいく神話を描いているのに対して、同じ神話にもとづく実際の儀礼を表していると考えられている（春成1987）。このように考えると、妻木晩田①および日吉塚古墳例と稲吉角田例では、人物の表現が異なることから別の場面を表しており、描かれた絵画は実際の儀礼の場面を描いた可能性がある。

ここで注目されるのは妻木晩田①の場合、2つのモチーフの絵画が組み合わされている点である。

「戦士」と他のモチーフが組み合わせられた絵画資料を見ると、奈良県清水風遺跡の絵画土器のように、「戦士」の他に、「シカ」「魚」「高床建物」が描かれているものはあるが、本例のような絵画が描かれた例はない。また、これまでに全国で発見された建物絵画の多くは「高床建物」であり「竪穴住居」と考えられる絵画は少ないが、山陰地方ではほかに青谷上寺地遺跡例（第2図-3）が



第2図 絵画資料②

ある。

山陰地方の弥生絵画のモチーフの組み合わせに注目した山田康弘氏は、山陰地方の絵画では、近畿地方で主流となるモチーフを独自に改変ないし置換しているものが存在すること、そして、妻木晩田例の「建物」の場合もモチーフが置換された可能性があることを指摘している(山田2006)。

妻木晩田例は破片資料であるため、仮にモチーフが置換されていたとしても、どの絵画が置き換えられたのかは不明であるが、この「竪穴住居」と見られる絵画は、「高床建物」をはじめ「戦士」と組み合う他のモチーフとは異なる表現で描かれている。

弥生絵画のモチーフは、キャンパスの種類によって取り上げられた数は異なるものの、全体的に特定の画面に偏っており(春成1997)、それぞれの場面を表現するために選択されて描かれる。よって、妻木晩田①の「竪穴住居」と見られる絵画は、「戦士」の登場する儀礼を表すための絵画の組み合わせとして、本例で加えられた表現の可能性があると考える。

おわりに

以上、松尾頭地区出土の絵画土器例から得られた情報を整理し、他の絵画と比較検討してきた。

その結果、妻木晩田例の絵画の描かれ方は、器面の調整、描かれた道具について周辺遺跡の絵画土器の特徴とやや異なっていること、絵画のモチーフについては従来指摘されたように日吉塚古墳例とよく似ており、近畿地方の資料とも構図が共通すること、稲吉角田例と同じく

実際の儀礼の場面を描いた可能性があることを述べた。

山陰地方出土の絵画資料を概観すると、その出土は地域の拠点的性格をもっていたと考えられる特定の遺跡に限られているようである。このような傾向が認められる中、妻木晩田遺跡では、松尾頭地区から弥生時代中期から後期前葉の絵画土器4点が集中的に出土している点は、本遺跡の集落形成期から最盛期にかけての松尾頭地区の性格を考えていく上で重要である。

絵画資料は、その多くが破片で出土することから、他の類例を参考に絵画全体を推定復元せざるをえないが、本稿のように細部の情報を比較していくことによって、妻木晩田遺跡の特徴や、絵画資料が用いられた儀礼について明らかにしていくことができるのではないかと考えている。本稿では、妻木晩田遺跡周辺の遺跡の絵画土器を中心に取り上げたが、今後は同様なモチーフをもつ他地域の絵画資料との比較検討を重ねる必要がある。また、絵画の描かれ方についても地域的な特徴の把握が課題として残されている。

これらの課題について、本遺跡からの同一個体や絵画資料の出土を待ちながら、さらに検討を進めていきたい。

なお、今回の報告にあたり、妻木晩田遺跡出土資料については再実測をおこなっている。また、日吉塚古墳出土例および稲吉角田遺跡出土例の実見の際には、岩田文章氏、伊藤創氏にご配慮いただいた。末筆ながら記してお礼申し上げます。

(長尾かおり)

註

- 1) 本稿では「竪穴住居」としたが、このモチーフが本当に「竪穴住居」を表しているかどうかについてはさらに検討が必要である。

引用・参考文献

- 岩田文章編2003『日吉塚古墳』淀江町教育委員会
梅原末治1927「第二章 橋内における銅鐸 第一節 大和の銅鐸
（三）石上銅鐸」『銅鐸の研究』大岡山書店（1985 木耳社発行）
香芝市二上山博物館編 1996『弥生人の鳥獣戯画』雄山閣出版
北浩明他編 2005『名和飛田遺跡』鳥取県教育文化財団
小林青樹 2006「「戈と盾をもつ人」の弥生絵画」『祭祀考古学』第
5号、祭祀考古学会
斎藤弘之編 2001『弥生の絵画 倭人の顔―描かれた2000年前の世界』安城市歴史博物館
佐々木謙 1981「鳥取県淀江町出土弥生式土器の原始絵画」『考古
学雑誌』第67巻第1号、日本考古学会
妹尾活明 2001「第3章 松尾頭地区の調査 第10節 遺構外出土遺物」
『妻木晩田遺跡発掘調査報告Ⅰ』松本哲他編、大山スイス村埋
藏文化財発掘調査団・大山町教育委員会
辻信広編 1999『茶畑山道遺跡』名和町教育委員会
春成秀爾 1987「銅鐸のまつり」『国立歴史民俗博物館研究報告』
第12集、国立歴史民俗博物館
春成秀爾 1997「第3章 稲祭りの絵」『原始絵画』佐原真・春成秀
爾編、歴史発掘⑥、講談社
藤田三郎 1997「土器に描かれた弥生人物像」『考古学ジャーナル』
No.416、ニューサイエンス社
藤田三郎 2006「絵画土器の見方小考―手を挙げる人物と盾・戈を
持つ人物―」『原始絵画の研究 論考編』設楽博己編、六一書房
山田康弘2006「山陰地方の弥生絵画」『原始絵画の研究 論考編』
設楽博己編、六一書房
湯村功他編 2002『青谷上寺地遺跡4』鳥取県教育文化財団

挿図の出典

- 第1図 1、2：再実測 3：（岩田編2003）4：（湯村他編2002）
5：（岩田編2003）
第2図 1、2：（辻編1999）3：（湯村他編2002）4：（北他編
2005）